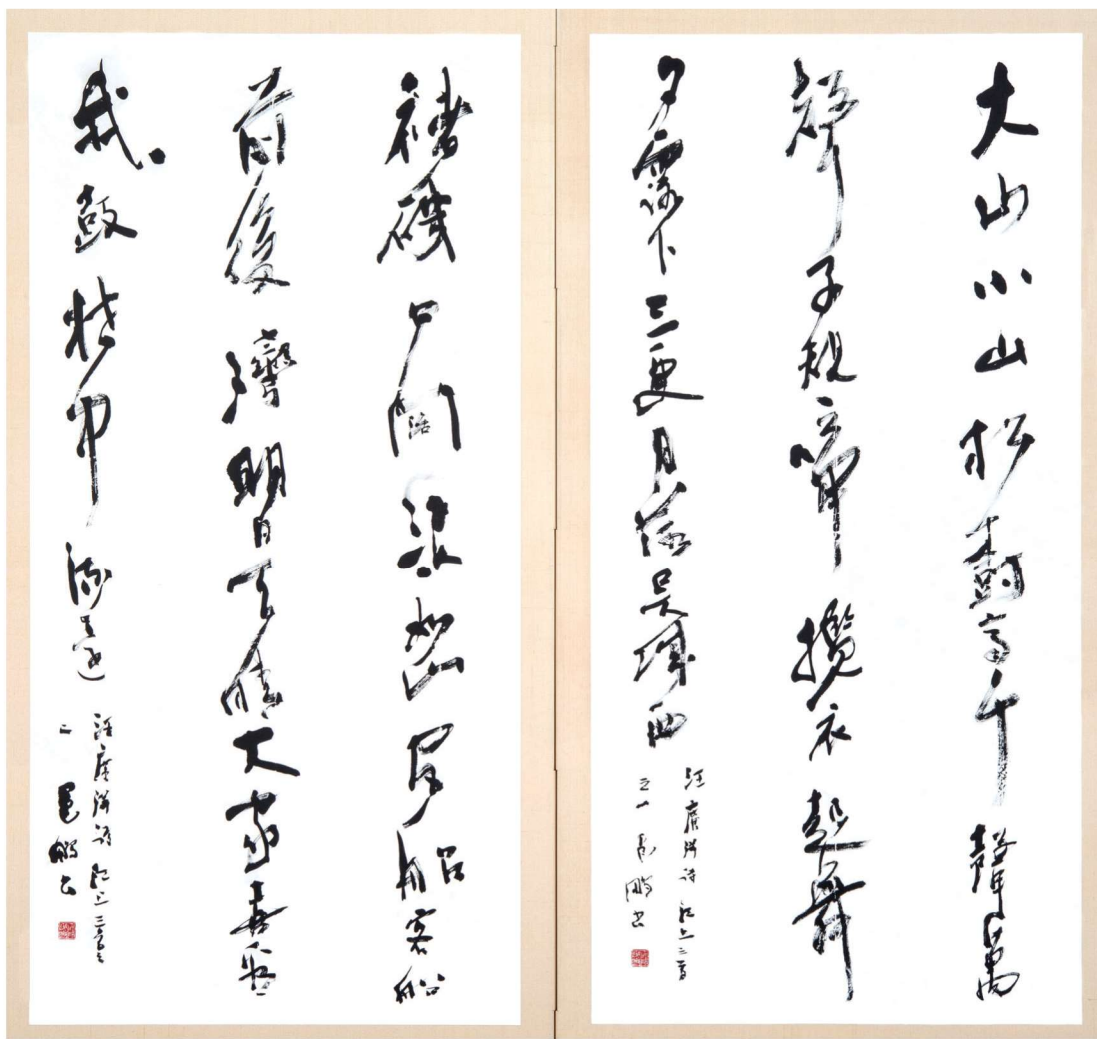


# 尾崎邑鵬展

2023年 2月18日〔土〕 - 4月16日〔日〕

成田山書道美術館

成田山書道美術館  
NARITASAN MUSEUM OF CALLIGRAPHY



「汪広洋詩」令和4年

書壇を代表する作家の一人として現在も意欲的に活動を展開される尾崎邑鵬先生の、八十年にわたる書業をふり返る展覧会を、来年二月、成田山書道美術館で開催します。

大正十三年京都府宮津市に生まれた尾崎先生は、幼少の頃から書に親しみ、広津雲仙先生、辻本史邑先生に師事し、

青山杉雨先生からも大きな益を受けました。北魏からはじまって明清の倪元璐などにいたるまで、幅広く古今の書を研究し、繊細でありながら骨太な書風を確立されました。

本展では、日展や読売書法展、日本書芸院展、由源展などの出品作を中心に、新作を含む尾崎先生の代表作を一堂に展覧します。また、愛蔵の書や六五〇号を超える『由源』誌など、関係資料もあわせてご覧いただきたいと思えます。

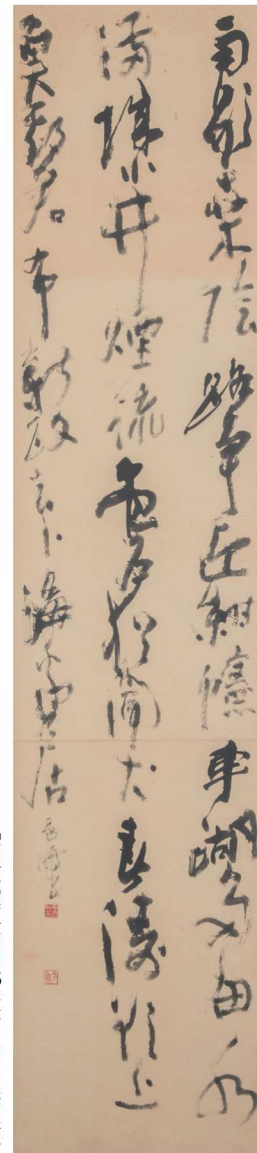




「杜少陵詩」平成5年日本書道院賞



「趙謝壁」平成25年第67回日本書道院賞



「高青邱詩」昭和45年第2回日展菊華賞



「豪彊」令和4年



休館日 | 月曜日(休日の場合は開館し、翌平日休館)、3月27日[月] - 31日[金]は展示替えのため休館 開館時間 | 9時 - 16時(最終入館は15時半) 入館料 | 大人500円 高・大学生300円 中学生以下無料 主催 | 尾崎邑鵬展実行委員会、成田山書道美術館 後援 | 読売新聞社、日本書芸院、全日本書道連盟、全国書美術振興会、日本書道文化協会 会場 | 成田山書道美術館 〒286-0023 千葉県成田市成田640 ☎0476-24-0774

私たちは「日本の書道文化」のユネスコ無形文化遺産登録を応援しています。

